

Istanbul Weekly vol.8-no.9

イスタンブールウィークリー

発行：在イスタンブール日本国総領事館 発行日：2019年3月15日（金）

— 今週のポイント —

- 政治：**アンカラ西部第4重罪裁判所、ヤヴァシュ候補に対する起訴状を受理。
エルドアン大統領とネタニヤフ首相、応酬合戦の勢い止まらず。
欧州議会、トルコのEU加盟交渉を停止する提案を可決。
- 経済：**2018年第4四半期の成長率-3.0%、2018年通年は2.6%
格安スーパーBİM、2018年の純利益は対前年比45%増。
- 治安：**ブルサ県でデンマーク国籍のISIL容疑者を拘束。
イズミル県でISIL戦闘員のリクルート活動関係者8人を拘束。
- 軍事：**トルコ軍とロシア軍、黒海で合同演習を実施。
トルコとロシア、シリア・イドリブで合同パトロールを開始。
- 社会：**ゲブゼ・ハルカル鉄道開通。
香川選手、決勝弾を決める。

政治

【内政】

●CHP、地方選挙の対面アンケート結果を発表

CHPが29市6,345人に対して実施した対面アンケートの結果によると、2018年6月の総選挙でCHPに投票した有権者の81%が現在もCHPを支持していると回答した。一方で、同13.8%がCHPに対して不満を募らせており、同13.7%が懐疑的であると回答した。また、地方選挙では、回答者の38%が候補者個人を、同27%は候補者が属する党を重視して投票すると回答した。「一番不安に思っていることは何か。」との問いには、経済(59%)、若者の意欲の消失(57%)、戦争(55%)、テロの増加(54%)、外国からの脅威(50%)と続いた。(3月9日付けM紙15面)

●高等選挙委員会、政党間同盟を巡る優良党の異議を却下

7日、高等選挙委員会は、世論調査会社ゲジズィ社が4日に発表した地方選挙のアンケート調査結果において、CHPと優良党がHDPと政党間同盟を組んでいるかのように記載されたことに対する優良党の異議を、多数決により却下した。高等選挙委員会は、同アンケート調査結果に、真実や中立性を損なうような情報や証拠は存在しなかったと主張している。(3月9日付けM紙17面)

●ソイル内相：7万9,894人のシリア人にトルコ国籍が付与

8日、ソイル内相は、2011年から2018年の間にトルコで出生したシリア人の数は41万5,582人であったと述べ、トルコ国籍を付与されたシリア人数は7万9,894人であり、その内4万6,000人から4万7,000人は子供であると明らかにした。(3月9日付けM紙14面)



(写真は、3月8日付けAAインターネット版から)

●デミルドエン RTUK 高等評議員、トルコ国営放送(TRT)の選挙報道に関する調査結果を発表

デミルドエン・ラジオ・テレビ高等機構(RTUK)高等評議員が発表した政治報道に関する調査報告書によると、トルコ国営放送(TRT)は、2月中、AKPを支持する選挙報道を最も長く行った(49時間58分)。次いでMHP(3時間32分)、CHP(5時間47分)、優良党(55分)と続いた。デミルドエン RTUK 高等評議員は、同調査結果について、「TRTは報道の原理を忘れ、野党側に都合の悪い報道を行っている。」と批判した。(3月11日付けC紙インターネット版)

●アンカラ西部第4重罪裁判所、ヤヴァシュ候補に対する起訴状を受理

(1)アンカラ西部共和国首席検察は、個人経営者ケスギン氏が以前国内企業間で発生した裁判の仲介費用として弁護士でもあるヤヴァシュ候補に偽物の60万トルコリラの小切手を譲渡したことに對して、ヤヴァシュ候補が同氏に支払いに関する脅迫の電話を行ったとの主張を受け、ヤヴァシュ候補に対して

「役職の不正利用」及び「個人の安寧を損なわせた」罪で 3 年 9 か月の懲役を求めた起訴状をアンカラ西部第 4 重罪裁判所に提出した。

(2) 8 日、アンカラ西部第 4 重罪裁判所は、同起訴状を受理。11 日には、チェリッキ AKP 報道官が、同件は 2016 年に行政裁判所が有罪を認めており、更にヤヴァシュ候補は他にも公文書偽造や脅迫等 28 件の案件を抱えていると述べ、「清廉潔白な候補者を擁立することは全ての党の任務である。」などと批判した。

(3) 12 日、ヤヴァシュ候補は、「AKP は地方選挙の世論調査結果でアンカラが AKP にとって不利だと分かった途端に中傷したのである。」と述べ、同件を取り上げたメディア関係者、チェリッキ AKP 報道官及びオズハセキ AKP 副党首を訴えたと応酬。13 日には、ケスギン氏の弁護士が、アンカラ西部第 4 重罪裁判所に対し、ケスギン氏の代理人を辞めるための請願書を提出した。(3 月 12 日付け M 紙 12 面及び 3 月 13 日付け M 紙 15 面ほか)



(写真は、3 月 11 日付け NTV インターネット版から)

●HDP 共同党首、選挙キャンペーンでエルドアン大統領を批判

12 日、ブルダン HDP 共同党首は、エルズルム市で行われた会合でのスピーチで、エルドアン大統領がハツキヤリ及びシユルナク市で 11 日に実施した会合に言及し、「あの日、エルドアン大統領の会合に足を運ぶ市民が少なかったため、聴取を水増しするために他の市から偽客が何十台もの大型バスに乗って会合に訪れた。」と批判した。同日、テメリリ HDP 共同党首も、バトマン市での会合で、「AKP は国民を二極化させている。」と非難した。(3 月 13 日付け C 紙 5 面)

【外交】

●エルドアン大統領、トルコの S-400 防空ミサイルシステム購入に言及

9 日、エルドアン大統領は、8 日にサマーズ米国防省報道官代行が、「トルコによるロシアの S-400 防空ミサイルシステムの購入は、確実に米国とトルコとの軍事的関係に重大な結果を招く。」と発言したことに対し、「トルコが同システムを購入することについて、NATO や F-35 戦闘機及び米国の信頼とは関係がないことは公然と知られていることである。トルコがシリアで自国の意思によって行動していることが問題なのだ。」と述べた。(3 月 10 日付け M 紙 14 面)

●エルドアン大統領とネタニヤフ首相、応酬合戦の勢い止まらず

12 日、カルン大統領府報道官は、10 日にネタニヤフ・イスラエル首相が「イスラエルはユダヤ人のための国家である。」などと発言したことを受け、「人種差別的な行為に厳しく抗議する。」と反発した。13 日には、エルドアン大統領は、ネタニヤフ・イスラエル首相が 12 日に「トルコの独裁者エルドアン大統領は、トルコの記者たちが刑務所に収監されている間にもイスラエルの民主主義を攻撃しているのである。」と批判したことに対し、「ネタニヤフ首相よ、正気に戻れ。おまえは 7 歳のパレスチナの子供達を虐殺した暴君だ。」と応酬した。(3 月 14 日付

け M 紙 16 面)

●欧州議会、トルコの EU 加盟交渉を停止する提案を可決

13 日、欧州議会は、パリ欧州議会トルコ担当官が提出したトルコの EU 加盟交渉を停止する提案を可決した。同提案の可決は、トルコの人権侵害や法の支配の揺らぎなどを理由としている。同日、チェリッキ AKP 報道官は、同決定について、「我々にとって無意味で価値が無い決定である。欧州議会は、もはや民主主義的な進展を支持する決定から距離を置いたのである。」と批判した。(3 月 14 日付け C 紙 9 面)

経済

【マクロ経済】

●OECD、トルコの 2019 年 GDP 成長率見通しを 1.8%に引き下げ

6 日、経済協力開発機構(OECD)は、世界経済中間報告において、トルコの 2019 年の経済成長率見通しを昨年 11 月時点から 0.4%引き下げて 1.8%とした。一方、2020 年の見通しは 2.7%から 3.2%に上方修正した(当館注:2019 年のユーロ圏成長率見通しは 1.8%)。トルコ政府の成長目標は、2019 年は 2.3%、2020 年は 3.5%とされている。同報告では、2018 年半ばから、金融市場からの強い圧力とマクロ経済政策の引き締めにより、生産と内需の減退が顕著であると指摘し、金融市場は落ち着きを取り戻し外部競争性は改善されてきたものの、民間部門の債務と金融引締め政策が必要に陰を落としているとした。(3 月 8 日付け HDN 紙 9 面)

●2018 年第 4 四半期の成長率-3.0%、2018 年通年は 2.6%

(1) 11 日、トルコ統計庁(TUIK)は、トルコの 2018 年第 4 四半期の成長率は、前年同期比-3.0%、2018 年通年の成長率は前年比 2.6%と発表。いずれも 2009 年以来、最低の水準で、昨年の通貨危機によりトルコ経済がリセッション入りしたことが明らかになった。

(2) 第 4 四半期 GDP を産業部門別にみると、建設部門が前年同期比-8.7%、工業部門が同-6.4%となった。支出項目別にみると、民間最終消費支出が前年同期比約-9%となり、内需が落ち込み、経常赤字が縮小してきたサインとなった。(3 月 11 日付けロイター)

(3) 2018 年の実質 GDP は 3.7 兆トルコリラ(7,840 億米ドル)、一人当たりの GDP は 45,463 トルコリラで 9,632 米ドルとなった。なお、2017 年は 38,660 トルコリラで、10,597 米ドルだった。(3 月 12 日付け HDN 紙 9 面)

●1 月の経常収支赤字、対前年比 88.4%減の 8.13 億米ドル

11 日、トルコ中央銀行は、1 月のトルコの経常収支赤字は前年同月の 70 億米ドルから 88.4%減の 8.13 億米ドルとなったと発表。経常収支改善の理由は、外国貿易赤字の改善とサービス品目の純流入の増加によるものとした。また、金及びエネルギーを除外した経常収支は 29 億米ドルの黒字で、前年同月の 15 億米ドルの赤字から大幅に改善した。政府が策定した新経済プログラムでは、2019 年の経常収支赤字の対 GDP 比率は 3.3%とされている。(3 月 12 日付け HDN 紙 9 面)

【金融】

●オリックスと米ペイン・キャピタル、トルコの不良債権への投資で協議

日本のリース総合企業オリックス社と、米国のプライベートエクイティ企業ペイン・キャピタルが、トルコの銀行が抱える不良債権への投資について協議を昨年 9 月から行っていることが

明らかになった。トルコの銀行の不良債権比率は4%を上回り、回収に懸念のある不良債権予備軍も数年ぶりの高水準にあり、それらに外資金融機関が注目している模様。不動産や造船など、保証付きのプロジェクト・ファイナンスに興味を示しているという。(3月8日付け HDN 紙9面)

【交通】

●アナドルジェット、3月21日からエルビルへ就航

ターキッシュエアラインズの子会社のアナドルジェット社は、同社にとってキプロスに続く国際路線となる、ディヤルバクル及びガージアンテップと北イラクのエルビルを結ぶ路線を3月21日に就航させると発表。同路線は週3便の運行を予定し、就航記念特別チケットは片道99米ドルで発売される。(3月12日付け AA)



(写真は、3月12日付け AA インターネット版から)

【エネルギー】

●TANAP、トルコへの天然ガス輸送量を年末までに40億立方メートルに増加

トランス・アナトリア天然ガスパイプライン計画(TANAP)のドゥズヨル GM は、TANAP による天然ガスの輸送量を年末までに40億立方メートルへ増加させると明らかにした。TANAP の年間輸送キャパシティは160億立方メートルだが、設計容量は310億立方メートルであると同 GM は明かしつつ、同プロジェクトが計画通りに進めば7月1日までにヨーロッパに天然ガスを輸送可能であるとしつつ、トランス・アドリアパイプライン(TAP)側の受け入れ体制がまだ整っていない可能性があるとして述べた。(3月14日付け HDN 紙9面)

【企業等の動き】

●格安スーパーBIM、2018年の純利益は対前年比45%増

(1) 格安スーパー大手 BIM 社の2018年の純利益は、対前年比45%増の12.5億トルコリラに達した。純売上高も前年の248億トルコリラから323億トルコリラに増加した。2018年末時点で同社は国内外あわせて7,478店舗を展開し、47,980人を雇用している。(3月8日付け HDN 紙9面)

(2) 9日、aHaber チャンネル及びニュースサイトは、「格安スーパーの名の下で市民の財布を搾り取った」「タンズィームが設置された大都市以外では価格をつり上げたまま」等、同社の収益を非難。これに対し BIM 社は、同社の上場企業としての公開性、格安スーパーとしての使命、経済への貢献を主張し、同メディアの報道は悪質な嫌がらせだと批判する声明を発表した。(3月13日付け SPUTNIK 紙インターネット版)



(写真は、3月13日付け SPUTNIK 紙インターネット版から)

●中国・廈門石材展覧会で、脱税容疑によりトルコ企業関係者拘束

9日、中国廈門市で行われていた廈門国際石材展覧会に出展していたトルコ人ビジネス関係者が、滞在中のホテルで脱税の容疑により中国当局に拘束されたことが明らかにされた。告訴状によれば、2016年から広州、雲浮及びトルコに支店を持つトルコ企業が中国企業と共に、5,950万ドル相当の24万トンの大理石を非合法に中国に持ち込み、450万ドル相当の脱税を行った疑い。これにより関係者の間では動揺が広がっている。カヤ・エーゲ鉱物輸送業者協会会長は、同展覧会には天然石材の国際市場への拡大のため、トルコ企業約150社が出展する予定であったと述べた。(3月11日 HDN 紙1面及び9面)

●チュクロヴァ財閥、ズイラート銀行からの債務16億米ドルを再編か

チュクロヴァ財閥が、ズイラート銀行から借り入れた16億米ドルの返済に行き詰まり、7月の返済期限を前に債務再編の申し入れを検討していることが報じられた。同財閥は2014年、テュルクセル社の株式13.8%をロシア人資産家ミハイル・フリードマンから買い取る際、10年の借入期間で同行から融資を受けたものの、元金の支払いが不可能となっているとされる。(3月13日付け Bloomberg 紙インターネット版)

●大手バス会社パムッカレ、事業継続へ

12日、トルコの老舗大手長距離バス会社パムッカレの債権者による第一回目の会合において、同社の事業継続が83%の債権者の同意を得て決定された。先般、イズミル下級商事裁判所は、破産審理委員会及び債権者の同社事業再建に対する前向きな見解にも拘わらず、同社の破産停止申請を却下し、倒産を宣告していた(3月14日付け SOZCU 紙8面)。



(写真は、3月13日付け SOZCU 紙インターネット版から)

治安

【ISIL 関係】

●ブルサ県でデンマーク国籍の ISIL 容疑者を拘束

13日、警察は、ブルサ県において、インターポールから指名手配されていたデンマーク国籍の女性(レバノン出身)を ISIL 容疑者として拘束。同容疑者は、ISIL のために欧州の女性をリクルートし、トルコ国内の ISIL 関係者とも連絡をとっていたと見られている。捜索により、容疑者の自宅から偽造旅券が押収された。(3月14日付けS紙インターネット版から)

●イズミル県で ISIL 戦闘員のリクルート活動関係者 8 名を拘束

13日、警察は、イズミル県において、ISIL 戦闘員のリクルート活動に関係していたとして容疑者 8 人を拘束。同日、アンカラ県でも対 ISIL オペレーションが実施され、ISIL 容疑者 14 人が拘束された。(3月14日付けS紙インターネット版から)

【YPG 関係】

●YPG が過去 2 週間の間にトルコ軍基地に対するドローン攻撃を 12 回企図

11日、治安当局は、過去 2 週間の間に YPG がドローンによる攻撃を 12 回試みたことと発表。標的とされたのは、シュルナック県、ガージャンテップ、シャンルウルファの各県のトルコ軍基地であり、いずれもトルコ軍が攻撃を未然に阻止し、負傷者は生じなかった。(3月11日付けS紙インターネット版)

【その他】

●治安機関がトルコ各地で不法移民 260 名を拘束

11日、警察、ジャンダルマ及び沿岸警備隊は、トルコ各地において、不法移民 260 名(ヴァン県 119 人、ハタイ県 38 人、ムーラ県 10 人、シヴァス県 5 人、エディルネ県 50 人、チャナッカレ県 32 人、テキルダー県 6 人)を拘束した。

(写真は、3月4日付け HDN 紙インターネット版から)

軍事

●トルコ軍とロシア軍、黒海で合同演習を実施

8日、国防省は、トルコ軍とロシア軍が黒海で合同演習を実施し、ロシアの巡視船とトルコの掃海艇等が機雷海域から安全に航行する訓練が行われたと発表した。(3月8日付け HDN インターネット版)



(写真は、3月8日付け HDN 紙インターネット版から)

●トルコがウクライナに無人偵察機を売却

7日、ポロシェンコ・ウクライナ大統領は、ウクライナと NATO 加盟国間のパートナーシッププログラムの一環として、トルコから無人偵察機「TB2」を購入したと発表した。「TB2」は、2015 年からトルコ軍で運用されており、爆弾が搭載でき、偵察だけでなく、攻撃性能も有している。(3月8日付け HDN インターネット版)



(写真は、3月8日付け HDN 紙インターネット版から)

●トルコとロシア、シリア・イドリブで合同パトロールを開始

8日、トルコとロシアは、シリア北部のイドリブにおいて合同パトロールを開始。アカル国防相によれば、ロシアはイドリブの県境地帯、トルコは非武装地帯(イドリブ県内)をパトロールする。(3月8日付け HDN インターネット版)



(写真は、3月9日付け S 紙インターネット版から)

社会

●国内初の 3D 横断歩道

アイドゥン県で国内初の 3D 横断歩道が敷設され、他県からも問い合わせが相次いでいる。内務省は 2019 年を「歩行者優先の交通年」とし、歩行者を優先しない運転手への罰金を 2 倍としている。(3月9日付け CNN トルコ・インターネット版)



(写真は、3月9日付け CNN トルコ・インターネット版から)

●エルドアン大統領、国際女性デーにおける集会を批判:アザーンに対する不法行為

10日、エルドアン大統領は、8日の国際女性デーに伴いタクシムのイスティクラール通りで実施された「第 17 回フェミニストたちの夜のデモ行進」に参加した者たちが、アザーンが唱えられていた際にも抗議活動を行っていたとして、「まるで国際女性デーのために集まったかのように見える集団は、スローガンを叫ぶ声や光を使ってアザーンに対して不法なことをした。集団を束ねるものはアザーンに対する敵意である。」と批判した。デモ行進を主催した団体は、警察が抗議活動を阻止していたと指摘し、「女性に対する警察の攻撃を差別的発言や嘘の報道で隠すことはできない。」と述べた。(3月11日付け Karar 紙インターネット版)

注：本文中の略語の正式名称は以下の通りです。

機関・団体等

略語	正式名称	略語	正式名称
AFAD	緊急災害事態対応総局	PKK	クルディスタン労働者党
AKP	公正発展党	PYD	シリア民主主義連合党
BDDK	銀行規制監督庁	RTUK	ラジオ・テレビ高等機構
BOT	建設・運営・譲渡方式	SNÇ	シリア国民評議会
CHP	共和人民党	SPK	証券取引監査院
DHKP/C	革命人民解放党/戦線	THY	ターキッシュ・エアラインズ
HDP	人民民主党	TIKA	トルコ協力発展機構
IDO	イスタンブール海上フェリー会社	TOKI	トルコ集合住宅開発局
ISO	イスタンブール工業会議所	TPAO	トルコ石油公団
ISID	イラク・レバントのイスラム国	TUBITAK	トルコ科学技術研究機構
ITO	イスタンブール商業会議所	TUIK	トルコ統計庁
KRG	クルディスタン地域政府	TUPRAS	トルコ石油精製会社
MHP	民族主義者行動党	TUSIAD	トルコ産業・実業家協会
MIT	国家情報庁	YOK	高等教育委員会
MUSIAD	トルコ独立産業家・実業家協会	YSK	高等選挙委員会

引用メディアの略称

略語	正式名称	略語	正式名称
AA	Anadolu News Agency	HDN	Hürriyet Daily News
C	Cumhuriyet	HT	Haberturk
D	Dünya	IA	Ihlas News Agency
DS	Daily Sabah	M	Milliyet
H	Hürriyet	S	Sabah

在イスタンブール日本国総領事館

電話：0212-317-4600、FAX：0212-317-4604、E-Mail：istanbulweekly@it.mofa.go.jp

WEB：https://www.istanbul.tr.emb-japan.go.jp/itprtop_ja/index.html

Facebook：<http://www.facebook.com/Japonya.Istanbul.Baskonsoloslugu>

- トルコに90日以上滞在される方は総領事館に在留届を提出願います。
- 新たに配信希望される方、あるいは今後の配信を希望されない方は、以下のメールアドレスにご連絡ください。
istanbulweekly@it.mofa.go.jp

【被害】

イスタンブール邦人被害統計								
2019.1.1～2019.3.14 ※総領事館に訴出があったものを集計								
	窃 盗		詐 欺		ぼったくりバー		高額絨毯購入(相談)	
	今週	通算	今週	通算	今週	通算	今週	通算
2018年	0件	9件	0件	2件	0件	15件	0件	6件
2019年	1件	1件	1件	1件	0件	2件	0件	2件

★当館 HP 更新のお知らせ★

- 領事手数料改定のお知らせ (3/12)
- イスタンブール・ジャパン・ウィーク 2019：第15回イスタンブール日本映画祭の開催 (PDF) (3/2)
- イスタンブール・ジャパン・ウィーク 2019：日本政府 (MEXT) 国費留学セミナーの開催 (PDF) (3/2)
- イスタンブール・ジャパン・ウィーク 2019：マンガセミナー「マンガ家の1日。～少なくとも7時間寝ましょう～」の開催 (PDF) (3/2)